

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 下山商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考		
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					目標	
				目標数値	実績数値	達成率	目標数値	実績数値	達成率		自己評価	調査結果	満足度				補足
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者を中心に、商工会職員が金融相談、税務相談・労働相談等経営全般について様々な相談への指導をすることにより経営及び技術の改善を図り、企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数 79社 ・巡回窓口指導延件数 241件 ・課題解決提案件数 11件 ・非会員指導実企業数 1件 ・非会員指導延件数 1件 ・経営革新承認件数 0件	小規模事業者	4	巡回窓口指導延件数 (達成度 80.3%)	241	課題解決提案件数 (達成度 110.0%)	11	地区内小規模事業者の金融、税務、労務等について支援できた。	総合評価	A	実施側の自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A A	補足	目標 両方現状維持 実施方法 両方現行どおり	○
記帳継続指導	商工会職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	指導延回数 543回 記帳指導対象者数 35件 指導延日数 200日	小規模事業者	指標	記帳指導対象者数 (達成度 97.2%)	35	指標	(達成度 %)	記帳指導を通して、企業の経営状態を把握し、企業経営に役立てることができた。	総合評価	A	実施側の自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A A	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	○
講習会等	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な税務、労働、情報化等の知識の取得を図り、事業者の資質向上を目的とする。	個別指導 3回 20人 集団指導 3回 27人 (内経営革新 1回1人) 計6回 47人	小規模事業者	指標	受講者数(集団) (達成度 112.5%)	27	指標	受講者数(個別) (達成度 133.3%)	経営革新及び労働保険実務、経営等の知識の向上が図れた。	総合評価	A	実施側の自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A A	補足	目標 両方現状維持 実施方法 両方現行どおり	○
特産品展等	H17年の市町村合併以降、豊田市内に1商工会議所・6商工会が存在する。そこで、1商工会議所・6商工会として豊田市役所が協力し、豊田市の特産品を外に向けて販売、PRする。	とよたの特産品展 1月26・27日開催 会場：セントレア 出展事業者 1社 参加事業者のスキルアップ 講習 1月26日、2月6日 講師：大崎美由紀 まるっと愛知出張物産展 2月9、10日開催 会場：金山駅コンコース 出展者 1社	小規模事業者	指標	事業参加者数 (達成度 66.7%)	2	指標	(達成度 %)	豊田市内の1商工会議所・6商工会合同で名古屋市金山駅において物産展を実施したことにより、小規模事業者や1商工会が単独ではできない規模の物産展となり、市外の顧客に地元特産品のPR及び販売ができた。	総合評価	B	実施側の自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	○
商店街・街づくり事業	商店街へ観光客等の誘致を図り、商店街の利用客の増加を図ることを目的とし、商店街周辺の観光資源等を活かした活性化事業を行う。 また、マイタウンおいでん香恋の里に協力することにより地域商業への集客力向上につなげる。	大沼こぼっちウオーク 加店舗数 13社 マイタウンおいでん事業 出店事業所 5社 計18社	商店街事業者	指標	事業参加者数 (達成度 100.0%)	18	指標	(達成度 %)	商店街への観光客の誘致を図り、商店街にあるお店をPRすることができた。	総合評価	A	実施側の自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への B 必要性 A	満足度 B A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	○
情報化推進事業	商工会のホームページを通じて会員事業所のPRを行うとともに、ホームページを通じて会員への各種の情報提供を行う。	ホームページ登録事業所数 78件 ニッポンセレクト、SHIF T 0社	商工業者	指標	ホームページ登録事業所 (達成度 100.0%)	78	指標	(達成度 %)	事業所への情報提供を迅速に発信することができた。会員事業所のPRができ、会員事業所の売上に貢献した。	総合評価	A	実施側の自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	○
青年部・女性部事業	青年部・女性部・各委員会・部会員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。また、商工業者の後継者である青年、若手経営者に対し、経営に必要な税務、労働、情報化等の知識の取得や資質の向上を図るための、講習会等を開催し小規模企業の振興、発展を目的とする。	女性部 部員数 28名 視察研修会 1回 青年部 部員数 18名 若手後継者等育成事業 講習会 1回 8名 青年部全国大会 3名 計3回	青年部員・女性部員 商業工業観光各一部員	指標	青年部女性部部員数 (達成度 80.7%)	46	指標	研修会等開催回数 (達成度 75.0%)	講習会の開催、視察研修で知識と資質の向上を図ることができた。ノウハウを地域社会の発展に役立てられた。	総合評価	A	実施側の自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A A	補足	目標 ①下げる②現状維持 実施方法 両方現行どおり	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 下山商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考				
				目標①			目標②			得られた効果	総合評価	A	実施側の評価	A B C D 評価			目標			
				指標	各種共済の加入件数 (達成度 92.0 %)		指標	(達成度 %)						自己評価				調査結果	満足度	補足
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	各種共済の加入件数 184件	商工業者	指標	各種共済の加入件数 (達成度 92.0 %)		指標	(達成度 %)		事業所の経営や雇用の安定に寄与できた。	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への	満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	引き続き共済推進に努める。	○
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、中小企業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適切な徴収を図ることを目的とする。一人親方建築組合も同様に指導する。	労働保険委託事業所数 34社 一人親方建築組合員数 23人 計57件	委託事業所	指標	委託事業所数 (達成度 101.8 %)		指標	(達成度 %)		労働保険の周知ができ加入促進が図れた。事業所の事務軽減や効率化が図れた。	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への	満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	未手続事業所を把握し、加入促進を図る。	○
青色申告会・法人会	青色申告会、法人会等の税務支援団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、商工業の活性化に資することを目的とする。	・法人会会員 52事業所 ・青色申告会 31事業所 計83事業所	下山地区内の法人、個人の青色申告者	指標	法人会、青申会会員数 (達成度 97.6 %)		指標	(達成度 %)		税務指導団体の活動をサポートしたことで、商工業者の税務支援が図られた。	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への	満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	各団体と連携して支援を実施する。	
産業団体	観光協会、カード会の活動をサポートし事業運営に協力することにより、国、地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	イベントへの参加事業所数 ・鯉恋まつり 20社 ・三河湖ウォークラリー 14社 ・よってらっ彩みてらっ祭 29社 計63社 ポイントカードによる売上高 686,000円	小規模事業者の団体	指標	イベント参加数 (達成度 96.9 %)		指標	ポイントカードの売上 (達成度 76.2 %)		観光協会と連携して、観光客へのPRを図り訪問を促した。そして小規模事業者の育成、活性化につながった。 また、しもやまSSカード会の活動を通して、商店街の活性化を図り、関連する小規模企業の育成につながった。	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への	満足度 A 必要性 A	補足	目標 ①現状維持②下げる 実施方法 両方現行どおり	団体と連携して商店の活性化を図る。	○
調査事業	経営支援を図るため、アンケート方式による地域の経済動向調査を実施する。	小規模事業者への経済動向調査の実施 調査対象事業所 商業・サービス業 19社 工業・建設業 11社 計30社	商工業者	指標	調査対象事業所 (達成度 75.0 %)		指標	(達成度 %)		管内における経済動向を分析し、地域内小規模事業者の経営判断、経営支援の参考資料として活用できるようになった。	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への	満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	継続して調査を実施する。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。